

# 学校推薦型選抜前期にご出願予定の皆様へ

学校推薦型選抜前期の判定方法について、「入試ガイド22ページ」および「募集要項6ページ」に詳細を記載していますが、「基礎学力型Aは判定方法Aのみで判定」ではなく、また、「基礎学力型Bは判定方法Bのみで判定」でもありません。両試験とも推薦書と活動報告書の両方をご提出いただければ「判定方法A（学校長推薦書）と判定方法B（活動報告書）の2通り」で得点を算出して、判定いたします。「課題提示型小論文」と「学科別小論文」においても、同様です。また、学校推薦型選抜前期で実施する4つの試験は、いずれか1試験だけ受験することも可能です。

## 3 入試ガイド P.22

### 学校推薦型選抜前期（小論文(課題提示型・学科別)・基礎学力型(A・B))

#### ■基礎学力型B（11月25日実施）

学部	学科	科目	配点	合計点	試験時間
文・社会	国史・地理・文化財・心理・総合社会	基礎国語領域（必須）	各50点	100点	80分 (2領域を80分で解答)
		英語領域、日本史領域、世界史領域			

- ・基礎国語領域は、「国語総合」の『現代文』の内容と、国語の一般常識を出題範囲とした基礎問題です。
- ・英語領域は、「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「英語表現Ⅰ」を範囲とした基礎問題です。
- ・日本史領域は、「日本史B」を範囲とした基礎問題です。
- ・世界史領域は、「世界史B」を範囲とした基礎問題です。
- ・問題を見てから選択科目を決定することができます（試験当日に受験領域を選択）。

◎時間等 集合 12:40 試験時間 13:00~14:20 (80分)  
◎試験場 本学・東京・名古屋・大阪・岡山

#### 判定方法

- 小論文、または基礎学力問題の成績（100点満点）と、調査書の全体の学習成績の状況（25点満点）、学校長の推薦書、調査書を点数化したもの（25点満点）を合わせた点数で合計点を作成します（150点満点）。
  - 活動報告書（400字程度）の提出は必須とし、小論文、または基礎学力問題の成績（100点満点）を1.5倍した点数で合計点を作成します（150点満点）。
    - ・合計点「A.」と合計点「B.」と比較して、高得点で合否判定を行います。
- 学校長の推薦書が未提出の場合、A.での判定（学校長推薦を用いた判定方法）は行いません。  
活動報告書が未提出等の場合、B.での判定（活動報告書を用いた判定方法）は行いません。

アドミッション・ポリシー	評価の対象	評価率
I. 出身校の評価 (AP1・AP2・AP3)	調査書の全体の学習成績の状況を中心に生徒が書く活動報告書も含め主体性を評価する。 ・調査書の全体の学習成績の状況を5倍する=25点満点 ・学校長の推薦書・調査書を点数化する=25点満点	34% (3分の1)
II. 試験の点数 (AP1・AP2)	小論文、基礎学力問題の成績で評価する(100点満点)。	66% (3分の2)
III. 志望理由 (AP3・AP4)	大学入学希望理由書の提出は求めない。	0%

#### 資格加点制度

社会学部のみ資格加点制度があります。  
社会学部では、実用英語技能検定、全商簿記、日商簿記、秘書技能検定、情報処理技術者試験の資格保有者およびTOEIC、TOEFL、GTECの取得点保有者に対して、48ページの表により点数を加点します。  
資格を証明する合格証書等のコピーが必要です。

## 募集要項 P.6

### 学校推薦型選抜前期（小論文（課題提示型・学科別）・基礎学力型（A・B））

#### ■集合時刻 基礎学力型A（11月24日実施） 基礎学力型B（11月25日実施）

集合時間…12時40分（12時10分より試験室への入室が可能です。）  
※全試験場（本学含む）において、同一時間帯・同一問題で実施します。

#### ■試験科目 基礎学力型A（11月24日実施） 基礎学力型B（11月25日実施）

学部・学科	試験時間	必須	試験科目	配点	合計点
全学部 全学科	13:00~14:20 (80分) (2領域を80分で解答)	必須	基礎国語領域	50点	100点
		選択	英語領域、日本史領域、世界史領域	50点	

- ・基礎国語領域は、「国語総合」の『現代文』の内容と、国語の一般常識を出題範囲とした基礎問題です。
- ・英語領域は、「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「英語表現Ⅰ」を範囲とした基礎問題です。
- ・日本史領域は、「日本史B」を範囲とした基礎問題です。
- ・世界史領域は、「世界史B」を範囲とした基礎問題です。
- ・問題を見てから選択科目を決定することができます（試験当日に受験領域を選択）。

#### ■判定方法（小論文（課題提示型・学科別）・基礎学力型（A・B）共通）

- 小論文、または基礎学力問題の成績（100点満点）と、調査書の全体の学習成績の状況（25点満点）、学校長の推薦書、調査書を点数化したもの（25点満点）を合わせた点数で合計点を作成します（150点満点）。
  - 活動報告書（400字程度）の提出は必須とし、小論文、または基礎学力問題の成績（100点満点）を1.5倍した点数で合計点を作成します（150点満点）。
    - ・合計点「A.」と合計点「B.」と比較して、高得点で合否判定を行います。
- 学校長の推薦書が未提出の場合、A.での判定（学校長推薦を用いた判定方法）は行いません。  
活動報告書が未提出等の場合、B.での判定（活動報告書を用いた判定方法）は行いません。

アドミッション・ポリシー	評価の対象	評価率
I. 出身校の評価 (AP1・AP2・AP3)	調査書の全体の学習成績の状況を中心に生徒が書く活動報告書も含め主体性を評価する。 ・調査書の全体の学習成績の状況を5倍する=25点満点 ・学校長の推薦書・調査書を点数化する=25点満点	34% (3分の1)
II. 試験の点数 (AP1・AP2)	小論文、基礎学力問題の成績で評価する(100点満点)。	66% (3分の2)
III. 志望理由 (AP3・AP4)	大学入学希望理由書の提出は求めない。	0%

※試験科目間において試験問題の難易差に基づくものと認められる大幅な得点差が生じた場合には、得点調整を行うことがあります（基礎学力型のみ）。